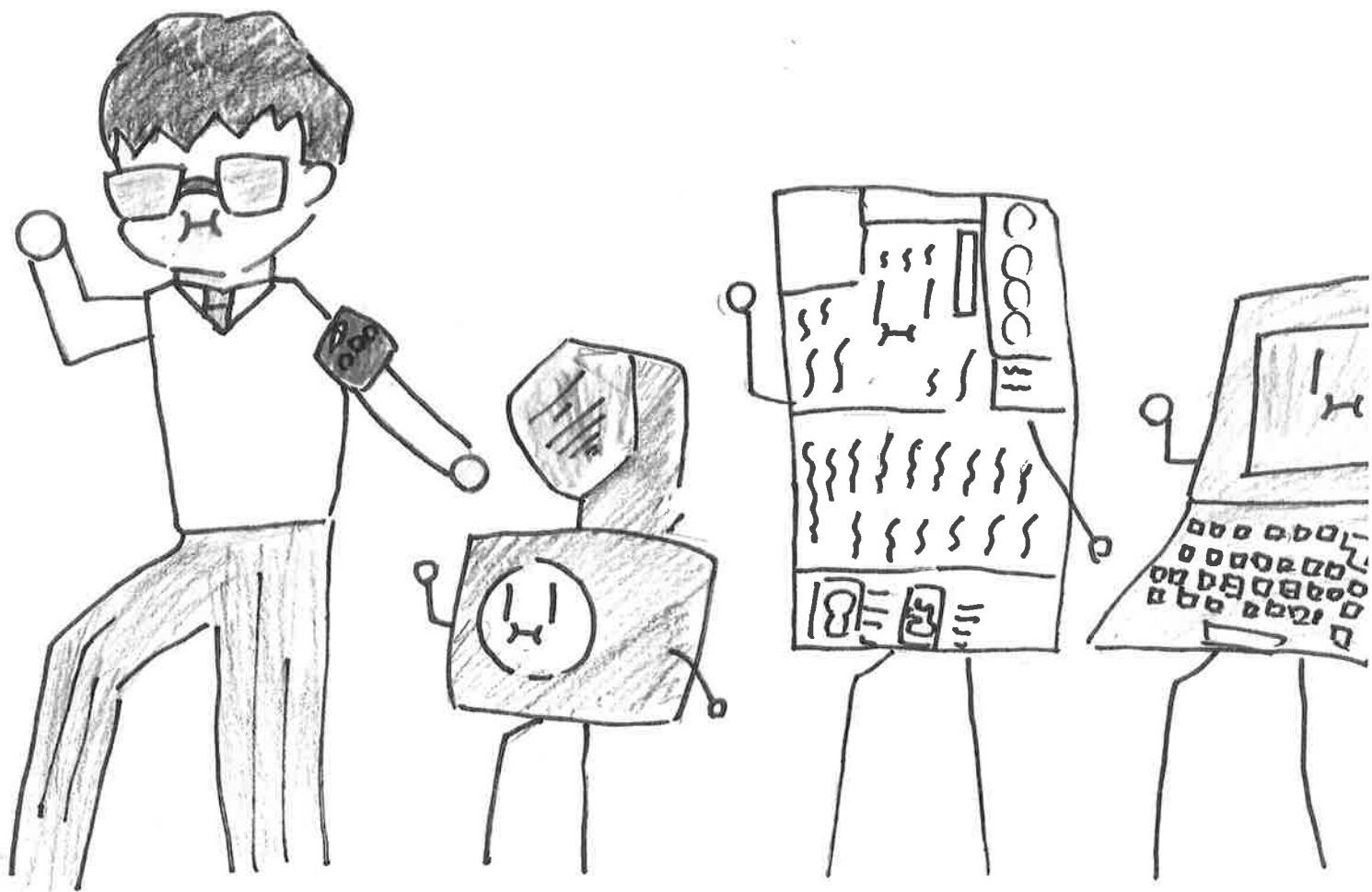


神戸新聞社 斉藤先生



高砂市立米田小学校六年一同



神戸新聞社

斉藤先生へ

先日、6年生の総合的な学習の時間「職業人と語ろう」の学習のため、来ていただきありがとうございました。

初め、新聞の工夫を聞いたり、フリンの提供ミスという例題で実際に取材したりして、新聞は時間もかかたりして苦労していることが分かりました。

新聞の工夫を聞いた時、見出しにもろがいがあり、写真やグラフがあるので、字だけだと分かりにくい所も、グラフでよく分かることができる工夫が知れました。

次、実際に取材をしてみて質問があまり出てこなくて取材する人は、ペン、メモ、録音する機械を持っていたり、一つの質問でどれだけ大変な事をしたかが分かり、たいと思いました。

斉藤先生の話聞いて、ふたん身近にある新聞でも、いろんな担当の人がいることを知、ておもしろが、たし興味があいたので家にある新聞を読んでみたいと思いました。

自分たちに新聞のことを教えてくださ、てありがとうございました。



神戸新聞社

斉藤先生

先日は、私たちの総合的な学習の時間「職業人と語る」の学習のためにご来校いただきありがとうございました。私には新聞は読みますが、取材やインタビューなど裏のことなどは気にかけてのことなど全くなかったです。でも、先日に斉藤先生に教えてもらってから、おもしろそうな仕事だなあと思いました。その中で先生に教えてもらったことは、読者が読みやすい文章の構成でかくことです。先生は新聞の構成についてくわしく教えてくれました。横書きの見出しの時は、大事件のような大きな事があったとき。文章全部を横書きに書いたときは、とても大きな出来事があったとき。例えば平成から令和に変ったときなど、だいたい10年1度ぐらしか使わないのだとか。どんなことも、私の知らないことばかりで、とても勉強になりました。しかも、先生は、みんながわかりやすいよう、わざわざ、事件を起こしたことのプリントまでつくってくださったり、みんながする質問に答えたりして下さり、とてもわかりやすかったです。でも、1日に1回は取材しているということにはびっくりしました。ありがとうございました。先生に教えてもらったことを覚えて、これからがんばります。



神戸新聞社

斉藤先生へ

先日は、私たちの総合的な学習の時間「職業人と語ろう」の学習のためにご来校いただきありがとうございました。

先生から学んだことは一つあります。それはとにかく行うということ。読者に新聞が届くまでの大まかな流れは①取材をする②記事を書く③見出し、写真、イラストをいれウチくる④印刷し販売店に発送⑤販売店から一軒ずつ発送というのが大まかな流れです。この中で、もとまちかえとは、アメと言っていたのは取材の時にその人の名前を覚えてまちかえとはいけないと言いました。まちかえないようにするには、その人の名前を書き度見せることでまちかえないと言いました。

これからは斉藤先生に教えてもらった事をあずけずに、いしきして、こんごもしかしたらかつやくすることがあれば、がんばっていきたいなと思っています。



神戸新聞社

齊藤先生へ

先日は、私たちの総合的な学習の時間「職業人と語ろう」の学習のためにご来校いただきありがとうございました。

先生から教えていただいたことで分かったことが2つあります。

その1つ目は、新聞をつくるために必要なインタビューの担当がいろいろな種類に分けられていることです。新聞を見ると、いろいろな資料があり私は、ほとんどの人下いろいろなことをインタビューしているのかなと思っていました。2つ目は、実際に先生にインタビューをして、インタビューをする側も難しいと分かったことです。インタビューをした時、早く自分が考えた質問を聞かずにほかの人に先に聞かれてしまい、質問がなくなるとオロオロしてしまって、難しいなと思いました。

先生から教えていただいたことを大切に将来の夢に向かってがんばりたいと思います。



神戸新聞社

斉藤先生

先日は私たちの総合的な学習の時間「職業人と話ろう」の学習のためにご来校いただきありがとうございます。ごさいました。

先生の話を聞いて学んだことは3つあります。

1つ目は、新聞会社も会社ごとに競争をされていて、どこよりも読者にわかりやすくしようとどこの会社も考えて、私たちに新聞を届けていることです。2つ目は、仕事の楽しさを持ったえる熱意です。

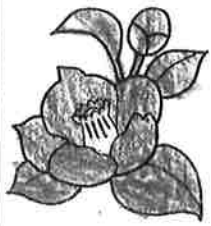
私たちにきしゃがいけんをさしていただいたとき、フォリント、かりの新聞きじをよういしていただいておもしろい体けんかできました。

3つ目は、1つ1つの質問をしっかりと考えていることです。

テレビでみると、質問をいっはいいいて、「こんなことまで聞いてどうするんだらう」と思っていたけれど先生の話をきいて、たとえ新聞にのらなくとも、できるだけわかりやすくかくための材料なんだと思いました。

先生におしえていただいたことを大切にして

将来の夢に向かってがんばりたいと思います。



神戸新聞社

齊藤先生へ

先日は、私たちの総合的な学習の時間「職業人と語ろう」のため、ご来校ありがとうございました。

新聞のことは気になっていたことが多く、新聞のことがよく知れました。特に学んだことは3つあります。

1つ目は、新聞のでき方です。身近な新聞も見えない所では、何十人もの人たちが、何時間もかけてつくっていることが分かりました。

2つ目は、取材です。ニュースなどで取材をしているところはよく見るけど、自分で体験をしてみても、色々な質問ができました。考えるのが難しく、すこし取材は難しかったです。

3つ目は、新聞の書き方です。たまに学校で新聞をかいて、どこにどの記事を書くかが重要なのが分かりました。また、写真を使うことで興味をもたせることも知りました。

先生から教えてもらったことを、将来きと生かせるはずなので、大切にしていきたいです。



神戸新聞社の斉藤さんへ

新聞の書き方や取扱いの仕方などをおしえてくれてありがとうございます。

それに自分達でしゃべりかいた人のリポーターになって質問をしたりとたいけんであたり斉藤さんへの質問で少しおもしろくしたりして笑わせてくれたことに「このきぼう」に新聞社というワードが入ってきました。

コミュニケーションがあまりよくいではないのでもし入るのなら練習しておきます。

そしてリポーターになって質問するとき「いいね」とか「いいつくね」とかしてくれてかみかみがあるといやりました。

もし新聞社に入ることになったらめいおくかもしねませんかまたいろいろおしえてください。

「急がしい中きてくれてありがとうございます。」

これからもけがやひはらきをせずほどほどにがんばってください。



今回の新聞記者の体験で人とのコミュニケーションが大切だなと思いました。私が思う新聞記者は「人に聞く」ということが一番大切だと思います。その「人に聞く」ということを体験してみても簡単ではないと分かりました。相手に聞きたいことをはんばん聞いてもいいけど、記事に書く内容をもとに質問をして、くわしく読み手に伝えるということをしてると、新聞に書く記事が分かりやすくなるということ学びました。そして新聞が私達に届くまでの順序を見ましたが、すごく大変だと思いました。そういえば、齊藤さん、記事が何週間、何月かかることがあると聞いていましたが、毎日毎日新聞を何時間書くんですか？また教えてください。今の時期、コロナウイルスの病気が大流行し、人とのコミュニケーションがあまりできないですが、人とのコミュニケーションを大切にしてください。後、新聞見ました。先生も、友達も見て、びっくりしていました。

これから、人も、情報社会のために、新聞をひき続き、書いてください。おいろがしい中、私達のためにきてください。ありがとうございました。



新聞記者の 齊藤さんへ

今回の職業体験で、新聞を読んでみようと思いました。

新聞は色とか字の大きさをビビで色々くふうもしていて、1枚の

新聞は何百人もの人が関わっているんだなと学びました。

記者かい見は、『どこをついたらもっとくわしく分かるのだろう』とかちゃんと

考えなければ、いけない所が難しかったです。

新聞は、自分の足で聞いて周って、新聞を1枚つくったら、すぐ次の日には

次の新聞をつくっている、24時間働かいているから、1枚1

枚がすごく気持ちのこもった新聞になっているのだなと学び

ました。

この1時間、楽しく学ぶ事ができました。

実際に、新聞を読んでくふうしている所を見つけたり、

記者になりきって、インタビューをしたりなど、

今後、体験できない様な事を体験できて

すごく楽しかったです。

これからは、新聞を読んで知識を増やそうと

思います。

本当に今回はお急がしい中、来てくださって

ありがとうございました。

これからもお仕事がんばってください!